

2015・9・1

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2015年度 学校だより 第6号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2015年度)

子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。
ヨハネの手紙 一 3章18節

小さな平和

校長 橘 明子

いよいよ、二学期の始まりです。今年の夏休みは、暑い日が続き、大人も子どもも熱中症対策で大変だったことでしょうか。しかし、夏休みが終わる頃には気温も下がって逆に少し肌寒くも感じた方々がいらしたのではないのでしょうか。今学期も日々の学習に加え、たくさん行事もあります。健康管理に気をつけながら、子どもたちとともに豊かな学びの時をつくっていきたいと思います。

夏休みには、様々なイベントが各地で開催されました。各ご家庭でも子どもたちの夏休みの思い出にと色々なところへ出かけられたのではないのでしょうか。夏休みならではのイベントは子どもたちにとっても、大きな経験となるようです。また、出かけることなく家族でゆっくりとした時間を過ごされたご家庭もあるでしょう。どのような経験が子どもたちの成長につながるのかは分かりません。しかし、どの場においても神さまが私たちを支えて下さっているということは、間違いありません。

私たちは、夏休みが終わると「平和をともに」を迎えます。8月は原爆の地である広島、長崎のことを心に留め、また終戦記念日は特に“平和”と強い願いを持ちます。戦後70年と一言で終わる話ではありません。その時の痛みを私たちは受け継ぎ伝える役目があります。だからこそ、「平和をともに」という大切な行事があるのです。私たちの校名でもある「平和」を大切に考え、子どもたちと一緒に日々の生活の中から「小さな平和」をと願っています。しかしながら「小さな平和」って一体なんなのでしょうか。私たちの生活の中に「小さな平和」があるのだろうかと思いを返してみよう。

今の日本の社会では、どの世代においても不安をかかえています。「平和」に対する大きな不安なのかもしれません。では、一人の人間が「平和」を望み、社会を、国を、世界を争いのない環境にしていくためには何ができるのでしょうか。私たちにできることは、小さなことかもしれません。だからこそ、神さまを信じて、隣人を自分のように愛することを心に留めた生活を過ごしていきたいと思うのです。

小学生の子どもたちは、「おとなになったら・・・したい」「こんな人になりたい」と希望を持ち、夢を抱いています。子どもたちの夢、希望が私たち大人とつながっていると思うと、背中を正し「小さな平和」を大人の私たちから求め実践していきたいと思われたい。平和学園は互いに認め合い、支え合い、赦し合った関係を大切にしてきました。ですから、子どもたちの社会の中では様々なことがあるけれど、マイナスをプラスに変えていく力を蓄えて成長しようしているのです。一人ひとりの子どもたちの生きる力を私たち大人は上手にサポートしたいですね。そして、小さな頃の夢や希望は大切にしたいと願います。「小さな平和」とはイエスさまが私たちにして下さったこと、教えて下さったことではないでしょうか。それはどのような時でもお互いの優しいまなざしや、温かい言葉、思いやりや労わり、そのような関係性を築くこと。その関係が「小さな平和」を生み出しているのではないかと考えます。

今学期も「小さな平和」を祈りましょう。よろしくお祈りします。